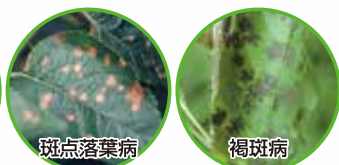




りんご・なし・いちご すいか・きくを守る 保護殺菌剤

アントラコール® 顆粒水和剤

- 散布後すぐに植物の表面に付着し、病原菌の侵入を防ぎます。
- りんご・なしの主要病害、いちごの炭疽病、すいかのつる枯病・炭疽病、きくの白さび病に対して、優れた予防効果を示します。
- 耐性菌発達リスクの低い薬剤です。
- 耐雨性に優れています。



製品情報はこちら

アントラコール® 顆粒水和剤

農林水産省登録 第20145号

- 成分：プロピネブ……………70.0% 殺菌剤分類 M3
- 性状：淡褐色水和性微粒および細粒
- 毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

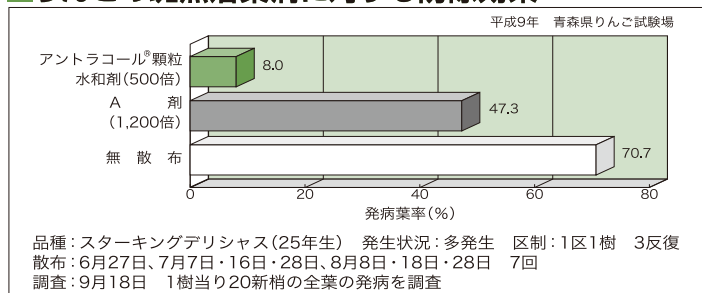
適用病害および使用方法

2022年11月現在の登録内容

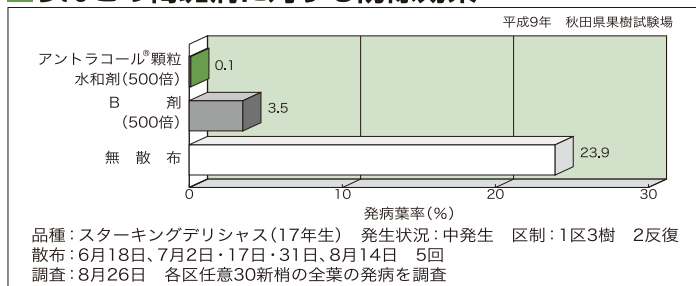
作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10アール当たり 使用液量(ℓ)	使用時期	使用回数*		使用方法
					本剤	プロピネブ	
なし	黒斑病	250	300~400	休眠期	1回	4回 (休眠期は1回)	散布
	黒斑病、黒星病、赤星病	500	200~700	収穫45日前まで	4回		
りんご	赤星病、黒星病、斑点落葉病、黒点病 褐斑病、すす点病、すす斑病 炭疽病、輪紋病					4回	
いちご	炭疽病					6回	
すいか	つる枯病、炭疽病	400~600	150~200	収穫前日まで	4回	4回	
きく	白さび病	1,000~2,000	100~300	発病前~発病初期	6回	6回	

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

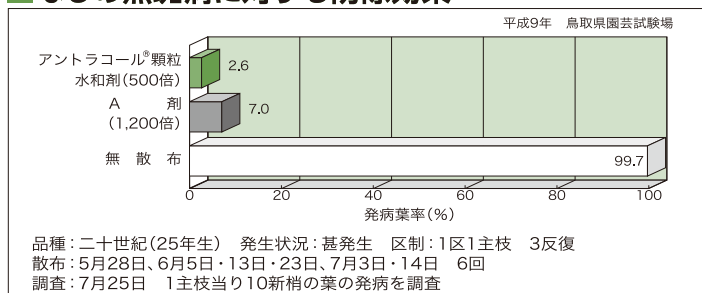
りんごの斑点落葉病に対する防除効果



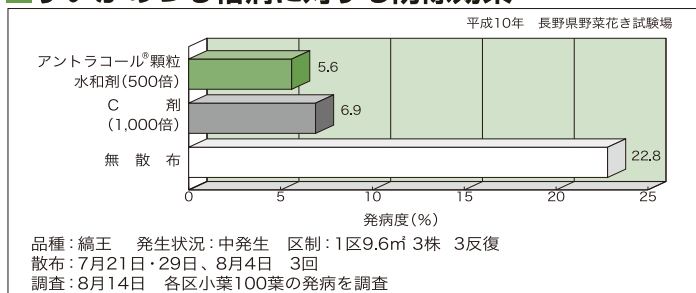
りんごの褐斑病に対する防除効果



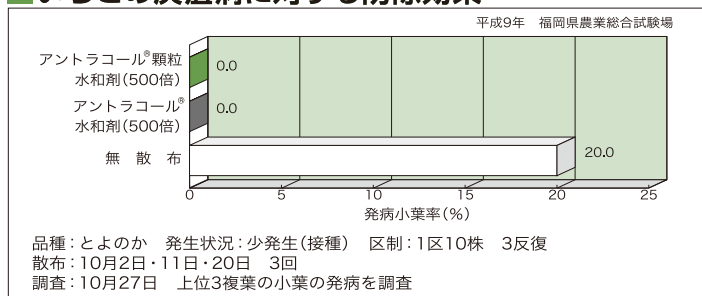
なしの黒斑病に対する防除効果



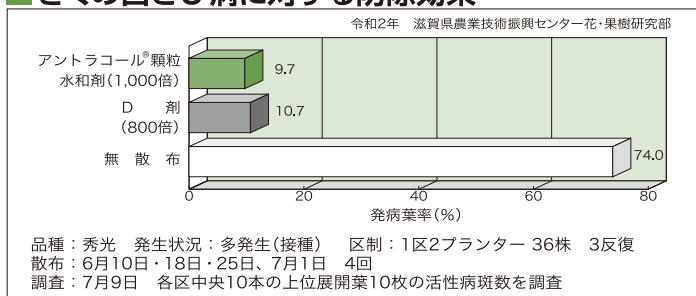
すいかのつる枯病に対する防除効果



いちごの炭疽病に対する防除効果



きくの白さび病に対する防除効果



注意事項

- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布して下さい。
- 石灰硫黄合剤などアルカリ性薬剤との混用はさけて下さい。またボルドー液、銅水和剤等銅を含む薬剤との混用および近接散布は葉害を生じるおそれがあるのでさけて下さい。
- りんごに使用する場合、落花10日後～20日後頃の幼果期には各種乳剤との混用はサビ果を生じることがあるので、できるだけさけて下さい。
- きくに使用する場合、収穫直前での使用においては葉斑を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- なしに散布する場合、新葉展開期(5月中旬頃までの)散布では、葉の色つきが遅れることがあるが、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗して下さい。

- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきって下さい。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 直射日光をさげ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。



バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎ 0120-575-078 9:00~12:00,13:00~17:00
土日祝日および会社休日を除く

F-2043 22.11.NY